



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

ゲリラ豪雨など大雨による浸水対策で静岡市が駿河区の下川原地区に建設中の雨水貯留管を、市立川原小5年生27人が18日見学した。市によると雨水貯留管の建設は県内初。完成すれば1万3200立方メートル(25杯プール

雨水貯留管を川原小児童が見学

駿河区



工事中のトンネル内を見学する児童―静岡市駿河区

約35杯分の雨水を一時貯水でき、周辺の浸水防止に役立つという。これまで県内には下に大きなトンネルが地下にあるとは思わなかった」と驚いた様子だった。

水道などを利用した浸水対策はあるが、専用の雨水貯留管は初めて。過去に大雨で冠水した下川原地区の国道150号直下約9メートルの深さに直径4メートル、長さ1100メートルのトンネルを掘削中で、2015年度内に完成する予定。

2014年9月19日朝刊 中部

※^{うすいちよりゆうかん}雨水貯留管は、大雨による雨水を一時的にためておくものです。

① この雨水貯留管は、完成すると25mプール何杯分の水をためられますか。

() 杯分

② この雨水貯留管の直径、長さを記事から書きましょう。

直径 () 長さ ()

③ 雨水貯留管を作ることについて、あなたはどのように思いますか。考えて、話し合ってみましょう。

年 組 名前

(小学校高学年 総合)